

岐阜インランド・デポ 利用事例紹介

運転手の負担を軽減し、コストも低減！（化学品製造）

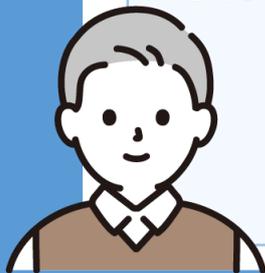
ご利用前の状況・課題

神戸港へ輸入後、自社工場を経由してトラックで全国に発送していたが、長距離・長時間輸送は運転手への負担が大きだけでなく、国内輸送コストも高くなるため、2024年問題の解決などの将来を見据えた対応を模索していた。

ご利用後の成果

貨物の一部について、輸入港を名古屋港に変更し、岐阜インランド・デポへ保税輸送後、中部・東日本方面の顧客については、インランド・デポよりトラック・JRコンテナを利用して発送。

- ◎ 運転手の負担軽減
- ◎ 輸入コスト・国内輸送コストの相対的な低減
- ◎ モーダルシフト推進により、環境負荷軽減



納品までの時間が大幅に短縮！（工業製品販売）

ご利用前の状況・課題

中国から名古屋港に輸入し、通関・輸入許可後、名古屋港にあるCFSまで引き取りに行っていたが、トラック1台に乗りきれないため、名古屋港と岐阜県を往復しなければならず、負担となっていた。

ご利用後の成果

名古屋港に輸入した後、岐阜インランド・デポへ保税輸送し、そこで通関・輸入許可後、岐阜インランド・デポの保税蔵置場へ引き取りに行くこととした。

- ◎ 引き取りにかかる時間と距離が大幅に短縮
- ◎ 輸送コストの削減



岐阜インランド・デポ 利用事例紹介

輸送コスト削減 & 細かな調整も可能！（金属製品製造・販売）

ご利用前の状況・課題

大きなロット輸出の商談が入り、港湾地区の保税倉庫に分割納品のうえ、まとめて輸出する方法を検討したところ、トラックの待機時間、荷役場所の確保、荷役回数の増加による外装損傷の可能性などの課題が明らかになった。工場バンニングも検討したが、倉庫容量の不足や海上コンテナの通路確保が困難など、ハード面の課題があり、解決策を模索していた。

ご利用後の成果

岐阜インランド・デポの保税蔵置場は、自社工場から近く、輸出貨物の工場バックヤードとして利用。また、運送会社の倉庫が保税蔵置場であるため、輸送車両の形態の調整などの融通が利き、海上コンテナや専用便転送輸送を使用することで外装損傷が出にくく、安心して輸出輸送ができています。

- ◎ 輸送コストの削減
- ◎ 輸送のタイミングや形態など、細かな調整にも対応してもらえる。



輸送コスト削減により、資材確保を実現！（金属・樹脂製造）

ご利用前の状況・課題

海外資材を低価格で調達するには、大量購入が条件となっていたが、自社工場内には保管スペースが不足していた。港湾地区での保管を検討したが、保管料や輸送コストなどが割高となるため、解決策を探していた。

ご利用後の成果

名古屋港に輸入した後、岐阜インランド・デポの保税蔵置場に保税輸送し、長期保管が必要になった場合は、保税保管管理をしている。

- ◎ 保管・輸送コストの削減
- ◎ 自社近くで長期の保税保管管理ができ、蔵置期間中は課税されない。

